

(3) 神明神社 (しんめいじんじゃ)

住所：519-1416三重県伊賀市新堂1192-2

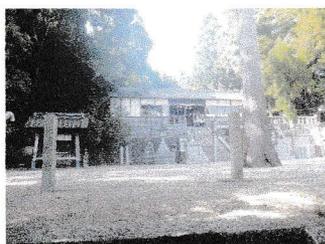
TEL：0595-45-4449

主祭神：天照大御神（大日靈貴命）

祭神：大物主命、木花佐久夜比賣命、應神天皇、大山祇命、健甕須佐之男命、火産靈大神、受持命、菅原道真公、建御名方神、八王子神、布都御魂神、天水分神



拝殿



鳥居



スギの大木

神明神社はJR新堂駅から徒歩5分、名阪国道・御代インターから車で10分の所にある。神明造の石の鳥居をくぐり、石段を登ると、広い境内の中央にヒノキの大木があり、左側に手水舎がみえる。拝殿に続く石段の両側には阿吽の狛犬と石灯籠4基が配置され、中央に中山造りの石鳥居がある。また、右手に神明神社合祀百周年祈念碑がある。石段を登ると平入り瓦屋根の拝殿があり、その奥の中央には鯉木が5本で縦削りの千木がのった両流造、左側には春日造、右側には両流造の本殿が3棟南東に向かって並んでいた。また、明治初期に合祀が行われる前は牛頭天皇が祀られた牛頭神明神社であったが、4つの神社が集まり、現在の神明神社になったそうである。その他境内には神楽殿、神饌所、東宝庫、西宝庫がある。なお、当社は現在地より西南方向1.2kmの所に祀ってあったそうであるが、第二次天正伊賀の乱（1581年）で全焼し、現在地に合祀されたそうである。なお、その時焼け残った社殿の円柱1本が現在の神明神社の宝庫として残っているそうである。宝物として鉄製円鏡（七面）、大般若波羅密多經（10巻）、太刀などが保管されている。

社殿の周りにはスギ、ヒノキ、モチノキ、クスノキ、ヤブツバキなどの大木やアスナロ、アラカシ、カナメモチ、ヒイラギ、キンモクセイ、モチノキ、クロマツなどがみられた。神事の例祭は毎年3月25日で子供神輿の御渡や獅子舞の奉納、餅まきなどが行われる。